

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所管	教育委員会教育総務部 文化財保護課
			TEL 2998-9253

事業の目的 (何の為に 行うか)	開発によって遺跡が破壊される前に、記録保存を行う。
------------------------	---------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の開発される土地	対象とした数	8,195	m ²
		実際に 利用した数	8,195	m ²

活動の内容	(何を したか)	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内における開発が発生した段階で、まず確認調査を行う。その結果遺構が発見され、開発により壊される可能性があるものについては発掘調査を行う。発掘調査は正職員+嘱託職員+作業員でチームを構成し取り組む。チームは調査の規模・期間・難易度により適宜編成する。							
活動実績	項目名	発掘調査件数	8	項目名	発掘調査面積	8195	項目名	出土遺物総量	81
		単位	件		単位	m ²		単位	箱

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	34,299	26,148	31,127	91.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	調査遺構件数		80	90	112.5
			単位	単位	単位
			件	件	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	120500	TEL	2998-9253
事業コード	埋蔵文化財発掘調査事業	担当部課	教育委員会教育総務部 文化財保護課			
120509		グループ	埋蔵文化財			
開始年度		昭和	51	年度	→	終了年度
		平成		年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市教育行政推進施策			文化財保護法 埼玉県文化財保護条例	
	関連・類似事業	埋蔵文化財発掘調査事業 発掘調査報告書刊行事業			所沢市文化財保護条例	
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	5節 市民文化	
		中柱	3 文化財の保存・活用	小柱	(1)文化財の調査収集・市民への紹介	
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 33 位			・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ					
	コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	3621	事務改善活動等の充実・強化
				コード	3261	事務事業見直しの推進
	事業開始の背景	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内における開発の増加に伴い、発掘調査体制を整備し、記録保存のための緊急調査を実施する必要に迫られた。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	開発によって遺跡が破壊される前に、記録保存を行う。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の開発される土地			発掘調査を行った土地の合計面積			
	対象数	単位	平成 18 年度	2,874	m ²	平成 19 年度	8,195
		平成 19 年度	8,195	m ²	平成 19 年度	8,195	m ²
	事業の具体的な内容及び実施方法						
	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内における開発が発生した段階で、まず確認調査を行う。その結果遺構が発見され、開発により壊される可能性があるものについては発掘調査を行う。発掘調査は正職員+嘱託職員+作業員でチームを構成し取り組む。チームは調査の規模・期間・難易度により適宜編成する。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
	常勤の作業員を減らし、発掘調査期間限定でシルバー人材センターより作業員を派遣してもらうことを2~3年前から行っているが、引き続きい人件費の削減に努めている。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		33,204	34,299	7,026	
	決 算 (見込み含む)		15,901	26,148		
		(嘱託職員) (臨時職員)	(0.20 人) (10.80 人)	(0.15 人) (1.80 人)		
	正規職員人件費		0.62 人	5,704	0.53 人	4,979
	公債費					
	事業費合計		21,605	31,127		
	財源内訳	一般財源		17,077	18,675	4,366
		国・県支出金		2,808	2,501	2,660
		受益者負担金		1,720	9,951	
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		63.9	91.8			
利用数一単位あたり(単位:円)		7,517.4	3,798.4			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	発掘調査件数	件	5	8	5		
		発掘調査面積	m ²	2874	8195	3000		
		出土遺物総量	27リットル入りリネ箱の個数	箱	38	81	40	
	成果分析	調査遺構件数	件	目標値	80	80	80	
			実績	43	90		実績値の拡大を図る1	
			%	達成率	53.8	112.5	実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	現在の実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	
			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	
	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	本事業は遺跡を正確に調査する重要な事業であるが、人事異動で熟練した職員が不足している現在、新職員の早期習熟が急務となっている。		

⑦一次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	異動してきた新職員向けのマニュアルの作成	発掘調査の基本を身につける。大まかな歴史を学ぶ。

⑦一次評価	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由			
	人事異動で熟練した職員が不足している現在、調査の質を落とさないように、マニュアル化による新職員の早期習熟が急務となっている。			
	評価日	平成20年5月12日	記入者職氏名	埋蔵文化財調査センター所長 中島岐視生

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑧二次評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価日					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	261
	施策の体系	2-6歴史・文化的環境の保全	施策の方向	2-6-1歴史・文化遺産の保存と活用
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			